

要求事項の収集

LC40.10A

プロジェクトを成功させるためには、ニーズや顧客の期待に沿ったプロジェクトとしなければならない。最終的なソリューションに関しての情報の収集や合意の上に、これらのクライアントのニーズや期待は設定される。通常、要求事項の収集ではいくつかの質問を行い、そしてソリューションを設定する。しかし、複雑なニーズを持つプロジェクトにおいては、公式のプロセスを必要とする。そのプロセスを通して、すべての要求事項を正確に収集し、レビューし、文書化し、承認することを確実に行うべきである。

受講要件

特になし。

学習目標

受講者は、コース終了後に次のことができるようになります。

- プロジェクト、システム開発ライフサイクル、分析フェーズの理解
- 要求事項のプロジェクトの範囲、目標、成果物への整合
- 多種多様な要求事項のタイプの認識、およびそれらの説明
- 要求の引き出しを行う前に理解すべきビジネス領域の決定
- ビジネス要求を引き出すための様々なテクニックの利用
- 効果的な要求事項の妥当性確認
- ビジネス要求の文書化による、プロジェクト・チームおよびビジネス・クライアントによる理解。
- 分析フェーズを完全に正確に完了したことの検証

想定する受講者

- アナリスト、要求事項を収集し、要求文書を作成するプロジェクト・マネージャーおよびチーム・メンバー
- 分析フェーズと要求プロセスの理解を必要とする管理職
- 要求事項を提供するクライアント、顧客およびすべてのステークホルダー

コース概要

- 全体像
- スコープ定義とスコープ・マネジメント
- 要求事項の定義
- 現状分析
- 要求- 引出し
- 要求- 妥当性確認
- 要求 - 仕様書
- 要求 - 検証

このコースでは、座学により概念を学習し、その概念を使った複数の演習を行い、学習内容を確実に理解できるようにします。

コース期間

- 1日 (8 PDU)